

1 開会の日時及び場所

- ・日時 平成19年3月26日(月)午後3時～午後4時30分
- ・場所 中仙農村環境改善センター 2階 農事研修室

2 出席した委員等の氏名

- ・出席委員 秋山 康委員 木元洋子委員 古村貞夫委員 佐藤昭夫委員  
佐藤育男委員 高橋國文委員 高橋辰美委員 高橋亮光委員  
傳農富士夫委員 平瀬一浩委員 藤澤英夫委員 藤田貞子委員  
以上12名  
(欠席 齋藤麗子委員 佐々木郁彦委員 高橋 修委員 高貝昇太郎委員  
高橋尊雄委員 長谷山祥子委員)
- ・市職員 市長 栗林次美 中仙総合支所長 後藤善良 総合政策課長 小松辰巳  
地域振興課長 富岡暁雄 地域政策考査員 田口元彦  
農林振興課長 鈴木雅幸 市民課長 佐藤昭光 建設課長 傳農順一  
教育委員会中仙分室長 五十嵐政博 総合政策課主幹 藤川祐弘  
地域振興課主幹 田口祥吾  
以上11名

3 次第

【開会】

会長が開会を宣言

【会議の成立】

事務局から出席委員 名、欠席委員 名で2分の1以上の出席があり協議会の成立する事を報告。

【会長あいさつ】

- ・3月に入ってから寒戻りのような天候が続きまして、一時は心配されましたが桜前線も近づいてまいりまして、秋田県地方も4月中旬には開花するのではと発表されております。観光シーズン到来も間近であります。本日は年度末を控えまして、ご多忙のところ栗林市長を始め幹部職員、委員の皆様のご出席を戴きまして衷心からお礼申し上げます。早いもので市町村の合併から3年目を迎え、正にこれからが試練の時であり、正念場ではないかと思っております。マスコミでも報道されておりますが、何処の市町村でも財政難になっているようです。大仙市においても財政の悪化の状況は否めないものとなっているようです。市長におかれましては、この難関を突破するため、どうしても人件費の削減をしなければならないと、苦渋の選択に出ら

れたようであります。その決断と心中を察するに、本当に辛いものだったと思います。市長始め特別職そして議員、一般職員の方々の報酬給与が削減されるわけでありますが、この決断は並大抵のものではなかったろうと、市長に対して敬意を表するものであります。特に一般職員につきましては申し訳ないわけでありますが、市民のため、市役所という職場を確保するため避けて通れない道だと思えます。私からも職員の方々にご協力をよろしくおねがい申し上げる次第です。一日も早い財政の健全化を期待したいと思っております。さて、本日はこうした厳しい状態でありながら、前年同様 500 万円の予算を戴くことになりました。これも市長のご配慮と心からお礼申し上げます。これから市長に対していろいろご説明申し上げますわけですが、執行に当たっては特段のご配慮をお願いしたいと存じます。今日はお忙しい中市長がご出席しており、意見交換の場を設けたいと思えますので、市長、幹部職員の方々によろしく申し上げまして開会に当たりご挨拶とします。

#### 【市長あいさつ】

- ・ 中仙の地域協議会の皆様には、今年度最後年度末ということで、大変お忙しい中協議会を開催していただきまして有難うございました。私共大仙市はまちづくりの最中に入ったわけですが、まちづくりの基本としている市民との協働の地域づくりについて、少しずつこうした考えが市民の中にも浸透してまいりまして、大仙市の大事な基礎作りも3年目に入りますが充分進めることが出来るのじゃないかと思えます。今年度は会長もおっしゃったように暖冬で、この前ちょっと冬の戻りになりましたが、今日からまた暖かくなってきましたので、桜の開花も早いのではないかと思います。昨年度大変な豪雪でありましたので、豪雪の対応としましても市としてしっかりとした対策を取らなければならないということで、今年度大仙市社会福祉協議会の皆様をお願いして、どうしても対応しきれない高齢者の部分に対する除雪のボランティアを作っていたきたいをお願いしまして、大仙市雪まる隊というボランティアが出来ました。市民の皆さんの登録が千人ぐらいあったようです。幸いにも1回も出勤することもなく今年度は終わるわけですが、こうした時期にしっかりとしたボランティア組織、特に豪雪に対応する組織を作っていただいて、これを大事にしながら雪に備えていきたいと思っております。また高齢者世帯の間口除雪ですが、各地域それぞれ無かったところもありましたので、今年度全市で行う体制を組んでスタートしました。これは一部負担を戴いておりますけれど、これにもかなりの皆さんが申し込まれましたが、残念ながら雪が少なかったものですから、出勤回数も非常に少なく、8千円から1万円の前納を戴いておりますので、その分については出勤回数に応じて前納した部分をお返しするという考え方に立ちまして、事前にご連絡を申し上げており、3月末に清算をすることとして出勤しなかった部分につきましてはお返しするという事で皆さんに連絡しております。それから除雪関係ですが、一部直営の部分もありますけれど、大半が業者の皆さんに委託しお願いしております。業者の皆さんは除雪機械を確保し、オペレーターを置いておりますので、今年のような雪の少なかった年は出勤回数により経費の基本料金的なものはお返しするという考えで、12月の末に少し出勤しまして1月中もほとんど降らなかったものですから、それに依りて2回に分けて業者の皆様にも一定の基本料金をお返しすることとしています。いざというとき、昨年

度のようにフル回転のときは大変ご迷惑をかけております。雪国ではたまに暖冬があっても普通に準備しており、除雪にかかわる皆さんとも日頃から良い関係でないと、いざというとき無理をしていただけないと困りますので、これについても出勤回数に応じてお支払いしたいと思っております。雪が無くて大変良かった訳ですが、ただリフトのあるスキー場、協和と大台と大曲ファミリースキー場ですが、特に大台スキー場は積極的に平鹿方面まで含めて、学校授業のスキーの会場としております。平鹿の学校も相当来ておりますので、雪を集めて何とか1本のコースを3月まで頑張っ維持し、出来るだけ学校のスキー授業を中止させないよう努力して学校授業に貢献しております。いよいよ合併して3年目を迎えますけれども、今会長からもご説明がありましたように、我々だけじゃなく合併した地方自治体はどこも大変厳しい財政状況になっております。しかし地方分権は確実に進むわけであります。自己責任・自己決定とよく言われますけれども、地方分権の受け皿をしっかりとしていかなければなりませんので、財政の厳しい状態にありますけれど、我々の目指している市民との協働で地域をつくっていくという概念で、職員共々頑張りますが、市民の皆様からも積極的な協力をお願いしたいと思います。地域協議会も3年目を迎えるわけです。当初何をしたらいいのか、どういうことをやるのか委員の皆様も相当お悩みになったことと思います。今年度一年間やってみて、それぞれの地域の課題など、そういったものを取り上げていただきましてやってきたことが、19年度に向けて確実に役立つことになったと思います。地域協議会の皆さんの活動もさることながら、大仙市では自治会・町内会に対して様々な支援を行っておりますので、そうしたものも含みまして地域の課題をしっかりとまとめていただいて、限られた予算の中で最大限の効果が出るように頑張っいただきたいと思っております。地域枠予算につきましても、19年度も本年度と同様の500万円としております。様々な計画がいろんな形でやれるようになってきていますので、地域協議会によっては予算が少し足りないという話も出てきているようです。それだけ地域の活動が進んできたと思っております。取りあえず19年度も同様の予算でやっていただきますけれども、場合によっては20年度あたりに、一生懸命頑張っている地域には、ボーナス的な予算も付けて良いのではと地域協議会の皆さんからの発言もございました。そういう意味で500万円の予算を最大限有効に使っていただきたいと思っております。今会長からもお話があったように大変厳しい財政状況ということで、これは一つには国全体枠が非常に景気が良く、いざなぎ景気を超えた長期の累積利益を計上し、大企業を中心とした大都市では税収も上がってきており、また雇用の場所も増え有効求人倍率も1を超える地域が結構出ています。残念ながら地方といわれる我々のような自治体は、税収がなかなか上がらない状況で大都市と地方の格差が広がっている状況です。県内では秋田市あたりは税収が上がっており、にかほ市以外は我々と似たような構造にあり、予算編成では苦労したのではと思っております。一方国では地方分権という形の中で、権限の委譲やら国から戴いておりますけれども、お金の裏付けがない形で行われており、我々が非常に苦労するというようになっております。国は全体としますと大量の国債を発行しており、国全体の財政を再建させるため、好景気で税収はのびておりますけれども、その分を財政再建に向けようとする考え方、地方はもっと工夫次第で少ない費用で仕事ができるのではないかとこの考

えて、地方交付税など地方に対する手当を少しずつ減らしてきております。我々も色々工夫しなければならないと思っておりますが、そう簡単にできない部分もあります。国からの出る部分が減らされますと非常に苦しくなり、我々全体の財政において依存財源が73パーセント自主財源が27パーセントで、よく3割自治といいますが、残念ながら大仙市では3割の自主財源が確保できない非常に苦しい状況で、県内の各自治体もだいたい似たような状況ですが、このような中で住民のサービス或いは住民の要望に答えていかなければなりませんので、様々工夫を凝らしながら、出来るだけ無駄を省いて、やるべきものに対しては考慮していかなければこの難局は乗り切れないものと思われま。意識の改革、そして無駄なものはなくし、やるべきものはやっていくという考え方を徹底的させながら計画を実施していきたいと思。総合計画が昨年から始まっており、今度2年目を迎えますが、10年間の基本構想の中で5年間の実施計画を立てています。それを毎年見直ししながら、大仙市の基礎作りをしなければならないと思っております。そういう背景で今年の予算を組み立てましたが、一般会計で428億円程度であります。前年度比較で3.6パーセント縮減しております。特別会計予算は23の特別会計があり、それが323億円、企業会計予算は大曲の上水道と市立病院が有り、それが21億円で、一般会計、特別会計、企業会計を合計した市全体の予算は772億円、その分についても前年度に比べると4.1パーセントの減となっております。現在予算を組んだ後の財政調整をする基金、財政調整基金と減債基金の残高が16億円ぐらいになっております。19年度は予算を全部使い切るのじゃなく、執行段階で節約や工夫をして余ったものを19年度末に基金に積み立てるという考えを持っております。18年度末には10億程度の財政調整基金でしたが、大仙市標準財政規模という国から示されている標準的なものによると30億ぐらいが望ましいとされており、30億はもてなくても20億ぐらいは常時持っていないと予算編成が難しくなりますので、何とかその水準に早く近づけていかないと安定したものとならないので、努力していかなければならないと考えております。そうした背景を受けながら、我々は危機に陥っているわけではありません。危機に陥る前の段階にあるということです。起債残高も1000億を超えております。少し多すぎるとい。危機に陥る前に何とかしなければと考えると、特別職を含め一般職員からの協力を得て職員の給与の削減について踏み切らせていただきました。何とか19年度一所懸命みんなで頑張。削減幅を20年度には少しでも戻したいという考え方で頑張りたいと思。市民の皆さんからもご協力をお願いします。地域協議会の活動につきましては、5月に全体の研修会を計画しております。全体の研修会は女性で初めて世界で2番目に高い山K2に登った小松由佳さん、市民賞を贈呈することに決めていますけれど、この方をお呼びしまして、全体の講演会と研修会を大曲市民会館を会場に計画しております。後、それぞれの地域協議会の皆さんの活動、先進地視察であるとか勉強をしていただける若干の予算をそれぞれ地域協議会の方に置かせていただいておりますので、有効に活用していただきたいと思。それから若干中仙地域における19年度の主要事業について報告させていただきます。まず国体に備えてということで、八乙女研修施設の大規模改修について2年計画で進めてまいりましたが、間もなく完成する予定であります。19年度

の事業費をだいたい2億3千万円程計上しておりますけれど、だいたい7月ぐらいには引き渡しができるということでございますが、もう少し早めていただければいいかと思っております。総事業費で4億4千万円程になりますが、完成後は学校教育、社会教育、企業研修、或いは生涯学習施設として体育館などもありますので幅広く大仙市として使っていく施設となります。それからインターネットアクセス整備事業の関係で、豊川・豊岡地区についてはADSLサービス実現のためNTTと協議しながらこれを実施していきたいと思っております。今週にもNTTと県の関係するところに行くことにしておりますが、この問題で直接また出向いてお願いすることもあるかと思っております。合わせて協議会の委員の皆さんや住民の方、藤田議員からも質問がありました中仙地域の市外局番について研究してまいりましたが、今のところなかなか良い方法がないようです。総務省の基準が思っていた以上に厳しく、それに合わせてNTTも同じようです。国の基準を変えさせるのは難しい為、民間企業であるNTTのやり方で変える方法はないかと相談に行っておかなければならないと思っております。その辺は後で事務局から説明させます。道路新設改良については15路線、地方道路交付金事業1路線、まちづくり交付金事業の関係で旧街道周辺地区につきましては二日町石持線などの整備費として2億6千万円程予算計上しております。また、上下水道の整備につきましては簡易水道の入角地区簡易水道整備事業として2億6千万円程予算計上しております。農業集落排水の田ノ尻地区事業費で3億9千万円、特定環境保全公共下水道事業の中仙地域事業費として1億2千万円程予算を計上いたしまして、上水道、集落排水、下水道この辺を特に重点的に事業を進めてまいりたいと思っております。広域でやっておりますごみの関係でございますが、南外地区に水を出さない無放流の屋根付きの最終処分場の工事を現在順調に進めております。20年度からは中仙地域もごみの体制が角館の方から大仙市の方に移ることになります。今年国体で八乙女で野球も行われますので、大仙市の宝物を公開してみようと言うことで、当地域の水神社の鏡の特別公開をご相談しております。それから池田邸の特別公開、大曲にあります古四王神社、これは国の重要無形文化財ですが、これは既に公開しておりますけれども、案内できるような期間を設けて国体用にやってみたいと思っております。それから太田にあります法隆寺金堂壁画模写、これは鈴木空如画伯の国宝級といわれるものです。3年に1回ぐらいの公開ということで国から指導を受けており、国体に合わせ沢山の人が見られますので、この4つの宝物を公開してみたいと言うことです。当地域に関連しまして、真木ダムの代替え案が、県と大仙市が一緒になりまして出来ました。いよいよ19年度から県の方も齊内川の玉川合流点付近、JRの鉄橋付近から玉川までの改修事業の計画が20年度にたてられると言うことで、20年度から10年間で一定の安全確率を持った洪水に対し、安全に沿った河川に引き上げることが代替え案の中で示されておりますので、そういう作業に今入っております。河川の堆積しているものは一時堤防を嵩上げしたり最後は1本導水路のようなものを掘らなければならないと思っておりますけれども、全体の改修は10年で取りあえず事業を終えて、最後の本当に安全対策としての誘水路又は導水路については10年の後になると思っておりますので、10年間でまず現在の堤防或いは河川敷にかなりの手を入れると言うことで合意しました。この事業がいよいよ19年度から市が協力する分の基本

が出来ると言うことで、始まっているのではないかと思います。それに合わせまして我々の方は水道事業で、真木ダムが出来るという前提で中仙地区、太田地区、仙北地区の簡易水道の事業計画を作っていました。これが出来ないと言うことで代替え案の中で示していただきました。一つは、玉川と桧内川の合流点の伏流水である地下水を河川敷から井戸を掘ってあげるという提言。それから太田の国見地域に扇状地があり、この地域に何カ所かボーリングし水源を確保するという提言。それから大曲の上水道を、花館地区玉川の地下水を利用して水源を拡大するという3つの水源で中仙、太田、仙北地域の簡易水道事業を行うというものです。19年20年で全体の大仙市の水道事業計画がまとまります。だいたいまとまるような材料を18年度中に用意しましたので、基本的な計画が進行しておりそれに伴う実施計画に入っていきたいと思っております。現在大きい簡易水道の事業として、非常に大変な事業でありますけれど南外に続きまして大沢郷地区全体と東部3地区の水道事業の計画づくりに具体的に入っていき、21年度ぐらいから事業実施に入れるのではないかと考えております。大仙市全体で当面する課題として、仙北組合総合病院の移転問題があります。これは仙北市、美郷町を含めて地域中核病院として、しっかりとした機能を持っていないので、厚生連会長の渋川さんと共に県に再三お願いに上がっております。秋田県は厚生連がほとんど地域の中核医療を担っており、厚生連全体としては経営が厳しい状況となっておりますので、そうした中で施設の更新がなかなか難しくなっており、地域の病院の更新も進まなかったわけでありまして。県としても地域の中核病院に責任を持つとの考えになっておりますので、県からも応援をもらいながら厚生連病院の建て替えの目処を付けたいと思っております。我々の命と健康のため早く完成させることが必要ですが、それには大仙市は勿論ですが美郷町、仙北市の相当な財政的応援が必要となり、大変苦しいときですが何とか財政の手当をして病院建設を早めたいと思っております。渋川会長は、だいぶ前から正式な機関決定ではないけれども、平成26年度には何とかしたいと表現しておりますが、我々はもう少し早めなければならないと言うことで、今様々な動きを厚生連の皆様と行っております。今年の6月ぐらいになりますと、厚生連としての正式な計画の中に、仙北組合病院の移転が明記されるのではないかと、そういう前提でやっておりますのでもう少しお待ちいただきたいと思っております。イオンの大曲バイパスへの進出も大詰めを迎えております。用途を確認しておりますが、中仙ジャスコは撤退しないと明言してもらっています。ただ機能はスーパーを中心とした機能になるようなお話でしたが、ここはこの店として維持していくと確認させていただいております。中仙ではバスの代替えをタクシーを利用した形でやっておりますが、羽後交通では、現在相当努力をしながら路線バスの維持をおこなっております。しかし国県からの補助金だけでは対応が出来なくなっており、近いうちに相当の路線バスの廃止をしなければならない状況になっていると、羽後交通から直接聞いております。それに対応するわけではありませんが、大曲の乗合タクシーや循環バス、この地区ではタクシーを使った手段、太田地区では羽後交通のバスを使った手段、協和では通学に路線バス絡ませるなど色々なことをやっております。今大仙市では県から交通空白地帯のモデルの計画を作るようモデル指定を受けており、県の皆さんと一緒に近い将来必ず対応しなければ行けませんので、交通弱者対策

交通空白地帯解消という問題を、大仙市としての具体的な計画を何とか19年度中に立てたいと思っております。20年度から実施できる所からやるという考え方で、この対応を急がなければならないと思っております。もう一つ大きな問題として議会の皆さんにお願いして特別委員会と作っていただいております。老人施設と保育園それと幼稚園の社会福祉法人化の問題、それともう一つ第3セクター直営の温泉施設の経営改善の問題、この2つの特別委員会と一緒に協議をしていただいて、両方とも今度の議会で基本的な計画について議会の皆様からご承認を戴きましたので、この計画の基にもう少し具体的なものをいろいろ整理して行かなければならないと思っております。出来るだけ利用者の皆さん、関係者の皆さん、そして関係する職員の皆さんなどこういうところに丁寧に説明しながら20年度から社会福祉法人として老人施設、幼稚園或いは保育園をスタートさせたいと考えております。直営という形だと非常に行政コストがかかりすぎる問題もありますし、この種の関係は全国的に圧倒的に社会福祉法人で行われておりまして、秋田県のこの地域だけが直営の形でやっているということでありますので、何とか市がしっかり管理する形の社会福祉法人という形でサービスを高めていく施設にしたいと思います。それから温泉施設第3セクターの問題、或いは老人福祉の問題温泉施設で黒字になっているところはたった1箇所では相当な一般財源を持ち出ししなければやっていけないところが多く職員もおりますし、健康増進として利益が上がらない部分を抱えている施設もありそういう課題を整理しながら、やれるものは営業的にやっていくという考え方をはっきりとさせて、どんどん一般会計から繰り入れするような構造だけは回避しなければならないし、そういう経営改善も19年度中にきちんと方針を立ててやらなければならないと思っております。いろいろ課題があるのは何処も同じだと思いますが、私共職員も含めて一所懸命汗を流して頑張りたいと思っておりますので市民の皆さん或いは地域協議会の皆さんからも様々なご指摘・ご提言をお願い申し上げまして挨拶に代えさせていただきます。今日は有難うございました。

## 【議事】

### (1) 会議録署名委員の指名

会長が佐藤育男委員、高橋國文委員の2名を指名。異議なしと認め了承する。

### (2) 平成19年度地域枠予算執行方針の説明

・傳農会長...議題(2)平成19年度地域枠予算執行方針の説明ですが、私から市長さんに報告したいと思います。

住民と連携して解決しようとする地域の課題として、住民が主体となった地域自治区の発展を図るための住民意識の高揚、行政と住民の連携についての具体的方策の模索を上げております。課題の現状といたしましては、当地域自治区内において住民は行政サービスを受けるものと考えている住民が大半であり、NPO等の設立も殆ど無いような状況であります。このことからボランティア精神で自ら行政と連携して事業を行おうとする気運も高まらず、停滞気味となっております。ただ、子供を守るなどの防犯活動については、盛り上がりを見せているような現状です。続いてテーマですが、一つめは住民が行う公益活動を積極的に支援し、協働の主体となるような住民団

体の育成に努めるとしてしています。その方法の一つ目として自主活動団体が行う公益活動を支援するとし、事業として一つ目が安心して穏やかに暮らせるまちづくり事業で、18年度からの継続です。類型は であり、事業の概要は子育て高齢者等のボランティア活動団体への活動助成を行うことで、少子化対策、高齢者福祉を支援する公益活動団体の強化・育成を図り、この部門の行政サービスの担い手とすることを目的としています。経費は2団体へ各20万円の補助を見ており40万円となります。二つ目の事業は、未来を創り心豊かな人を育むまちづくり事業でこれも継続です。類型は であり、事業概要は地域の風俗、伝統、個性等を継承していく団体への活動助成を行うことで、先人が築いてきた文化の保存及び継承を目的としています。経費は3団体へ各20万円の補助を見ており60万円となります。三つ目の事業は環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり事業でこれも継続です。類型は であり、事業概要は地域の生活安全に貢献する団体への活動助成や自治会の街灯設置に補助金を交付するというもので、防犯等活動団体の強化・育成を図り、この部門の行政サービスの担い手とすることを目的としています。経費は防犯等団体3団体へ各20万円の補助と街灯設置補助金として6自治会へ各5万円で合計90万円を見ております。四つ目の事業は、仲間とふれあいともに活動できるまちづくり事業でこれも継続です。類型は であり、事業概要は各種ボランティア団体の設立・育成を助成するというもので、協働のまちづくりパートナーとなるような団体の設立・育成を目的としています。経費は4団体へ各10万円の40万円を見ております。二つ目の方法は、自治会及び地域の団体と市が協働で行うもので、その中の一つ目の事業として、生活の基盤が整ったまちづくり事業を上げておりこれも継続です。類型は で事業概要は自治会・地域団体からの協働事業の要望により、原材料等を支給し、地域の生活基盤を整備するもので自治会・地域団体と市との協働事業により、住民が主体となった地域自治区の発展への気運を高めることを目的としています。経費は10万円の10団体として100万円を見ております。二つ目の事業は環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり事業でこれも継続です。類型は で事業概要は自治会・地域団体からの協働事業の要望により、原材料等を支給し、地域の生活環境を整備するもので自治会・地域団体と市との協働事業により、住民が主体となった地域自治区の発展への気運を高めることを目的としています。経費は40万円の3団体として120万円を見ております。次に二つ目のテーマですが市が主体となる事業を上げております。方法として、住民の要望等で緊急性があるもの及び市が事業主体として有効な地域連携事業を行うとしています。事業は地域の住民と連携しながら地域の緊急的要望に迅速に対処し、地域の特色を伸張するまちづくり事業でこれも継続となっております。類型は で事業概要は緊急対応が必要な住民要望や地域連携が図られる事業を行うもので、緊急性のある住民要望への対応及び地域の特色の伸張を目的としています。経費は地域枠事業全体の10%50万円を見ております。以上合計で500万円となります。

以上ご説明申し上げましたが、委員の皆さんから補足するところがあればお願いします。(委員から声無し)このような方針ですが市長さんいかがでしょうか。

・市長...ご説明戴きありがとうございました。職員と共に考えていただいた計画と思いますので、最初の頃の協議会はどういうことをやったらよいか暗中模索のときもあつ



たと思いますが、19年度はこのような計画を作っていただき感謝しております。これは計画ですので、途中で変更があったりすると思いますが、支所長を含め柔軟に対応していきますので、考え方として年度末に残ったものを消化するということはやめていただきたいと思います。効率よく執行し余ったものは次年度に繰り越す考え方で、中身のあるものをお願いします。地域協議会は我々が一方的に説明する場所じゃありませんので、地域枠予算についても一定のルールは我々が作りましたが、後は地域の皆さんがそのルールの中で地域のために使って欲しいと思います。提言等についても議会には議会の提言がありますが、それとは違った形で地域協議会の皆さんからこれからの地域づくりや大仙市全体の課題として行うものとかについてご提言をお願いします。

- ・ 傳農会長...ありがとうございました。それでは平成19年度地域枠予算執行方針の説明をこれで終わります。それでは次に(3)地域枠予算事業について議題とします。これについて説明願います。
- ・ 地域政策考査員...八乙女公園整備並びに活性化事業ということで、これは八乙女エコクラブが行う実施類型の事業でございます。八乙女公園は四季を通じ地域住民に親しまれておりますが、特に観桜会期間は昼夜観光客が後を絶たない状況となっております。しかし、公園入口から公園駐車場までの間は防犯灯もなく、徒歩や自転車の通行に支障を来しているということで、市民団体の八乙女エコクラブが地元企業等から協賛金を募り、ボンボリ200個を下げ電飾し、通行の安全を図るとともに観桜会を盛り上げ、同公園の環境保護活動を行うことで、これからも大勢の人々から愛される公園とし、観桜会等を通じ地域の活性化に役立ちたいとしているものです。予算として収入が協賛金20万円、市補助金が20万円、40万円。支出がボンボリ製作費25万6千円、電気配線工事14万4千円で40万円となっております。ご協議よろしくをお願いします。
- ・ 傳農会長...説明が終わりましたのでご質問ご意見を賜ります。(委員より声無し)無いようですので八乙女公園整備並びに活性化事業を承認することといたします。次に(4)その他に入りますが、冒頭でも申し上げましたように市長さんとの懇談の場としたいと思います。先に事務局より質問等の取りまとめがありました。これは1件だったようです。それでは古村委員をお願いします。
- ・ 古村貞夫委員...温泉施設の経営改善についてですが、特に大きな赤字を抱えているユメリアの累積赤字はどのくらいですか。
- ・ 市長...図体が大きなもの程大変です。もっと大変なのは太田生活リゾート、それとユメリア。ユメリアの方は高速のインターの関係が温泉と一緒にっており、いろんなやりとりがあり赤字の表現が難しいというのがあります。温泉施設そのもので大変なのは私は太田生活リゾートだと思います。ユメリアは高速のインターの関係が町の時代から全体の為のインターと言うことで、ここが全然儲からない用になっております。料金は全部公団が吸い上げ、公団は痛みを負わないという条件でやっており、収入がないため苦しい施設となっております。
- ・ 総合政策課長...私からもご説明いたします。ユメリアは温泉とインターの2つを経営しております。温泉の方は建設規模が大きいため維持費が非常にかかります。このこ

とから営業は頑張っておりますが確かに赤字幅はかなりの額です。インターの方は全国初のサービスエリアを含んだインターと言うことでモデルになっております。これを市町村で設置する場合、実際の維持費の3分の1だけはいろんな利用料金から入ります。年間3千万円位かかりますが、2千万円は市が負担しているインターとなっております。その2つを合わせて経理されますが、実際の赤字額はそう大きくは出ていません。ただ内訳の大きいところはインターは機械を持っております。機械は財産ですので、これがあるため大きな赤字は出ませんが、実際の赤字は大きなものです。18年度から第3セクターの改善をやっておりまして、少しでも経営改善を図りながら営業できる部分については営業という考え方、今回営業でない部分、政治的なものについては市長の考え方を明確にしながら第3セクターの経営を改善していきたいと思っております。

- ・ 傳農会長...古村委員よろしいですか。(古村委員から了承の声あり)他の委員からは事前に連絡を受けておりませんが、まだ時間があるようですので何かありましたらお願いいたします。
- ・ 市長...さっき途中になりましたが、0187の局番の切り替えですが思った以上に難しい問題なようです。このことを総合政策課長から説明いたします。
- ・ 総合政策課長...大仙市内には現在3つの局番がございます。中仙は0187で同じ番号でありながら市外局番を回さなければならず、市町村合併に当たり総務省で特例として合併の区域と電話の市外局番を合わせるという制度を設けてあります。この特例を使う場合については条件があり、合併する区域の市外局番が同じになるというのが大前提です。それと区域の方の大半が同意すること、その番号変更について市町村が責任を持つということです。合併市町村と区域が同じ番号ということになりますと協和地域が秋田市と同じ018です。中仙は0187で同じ電話番号で良いと思っておりますが、協和の市外局番を替えるとなると電話番号まで変えることとなりますので、到底不可能と思われまます。電話番号を変えると、住民の方も納得しないと思っておりますので、合併協議の際も協和の市外局番は替えないとしております。このため合併による特例で電話番号を変えることは出来ないと返事を戴いております。この他に方法はないかと検討しましたが、NTT独自で地域の電話番号を変えるという制度があるそうです。ただ、これにつきましても基本は総務省と同じような考えを持っておりまして、できれば同地域一番号、加入者全員の同意を必要としております。こちらの場合は、協和は出来なくても、中仙地域だけを替えることが可能かもしれないということです。これには中仙地域の加入者全員の同意が最低必要になります。NTTはこれが全国に波及すれば大変なので、できればやりたくないという意向のようです。ただそうも言っておれませんので、市長からNTTに足を運んでいただいて緩和していただき、要望活動をしていく必要があると思っております。又、全員賛同していただけるのか意向調査も必要と思われまます。
- ・ 市長...問題・課題が整理できましたので、総務省は全体の問題でできないと思っておりますし、NTTに何とかお願いして行きたいと思っております。
- ・ 傳農会長...委員の皆さんから何かありませんか。
- ・ 平瀬一浩委員...中仙中学校ですけれども、今年度女子バスケットボールが全国大会出

場ということで、市から補助金をいただきましてありがとうございました。ただ大会の日程上時間もあまりなく、経費捻出について大変苦労いたしました。この補助金は事前に申請することもできないので、このような緊急の場合、事後に清算するような補助金の融通制度はできないでしょうか。

- ・市長...何処でも抱えている問題ですので、持ち帰り検討したいと思います。
- ・傳農会長...他にございませんか。(声無し) それでは、これをもちまして本日の議題の審議を終了いたします。

#### 【閉会】

会長が閉会を宣言

#### 署名

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規程により会議の次第を記載しこれに相違ないことを証明するためここに署名する。

平成19年3月30日

会議録署名委員

議長

委員

委員